

うちなーの黄金言葉『しまくとぅば』を学ぶ！

12月15日(木)、比嘉麻希先生が授業を公開しました(1年3組)。本時の授業は、**方言の豊かさを味わおうと題し、生徒が次世代に残していきたい方言を選び、その理由を説明すること**が目的です。

授業の導入場面は、うちなーぐちクイズで大盛り上がり(図1)。生徒と麻希先生との言葉のキャッチボールが面白くて、麻希先生のツッコミも心地よく、教室が生徒の元気な声と笑顔に包まれていました。

(佳奈先生、1年3組ステキな学級ですね😊)

授業中盤は、沖縄県から生徒に支給される「しまくとぅば読本」を使って、実際に方言の練習をしました。生徒は、ぎこちないなりに、一生懸命方言を使って伝え合う姿が見られました(図2)。

麻希先生の授業で大変参考になったのは、『清らしーちゅらしー美しい』、『つぶりーちぶるー頭』など、『**古語—方言—現代語**』を関連付ける場面を設けており、単に方言を練習する授業ではなく、「方言と共通語」という、国語の学習のねらいに迫っていました。

また、**方言の消失は、沖縄の伝統文化(組踊り・琉球舞踊 etc)の消失にもつながる**ことを、生徒と方言の意義について考える場面もナイスでした(*^_^*)

麻希先生、ステキな授業ありがとうございました。

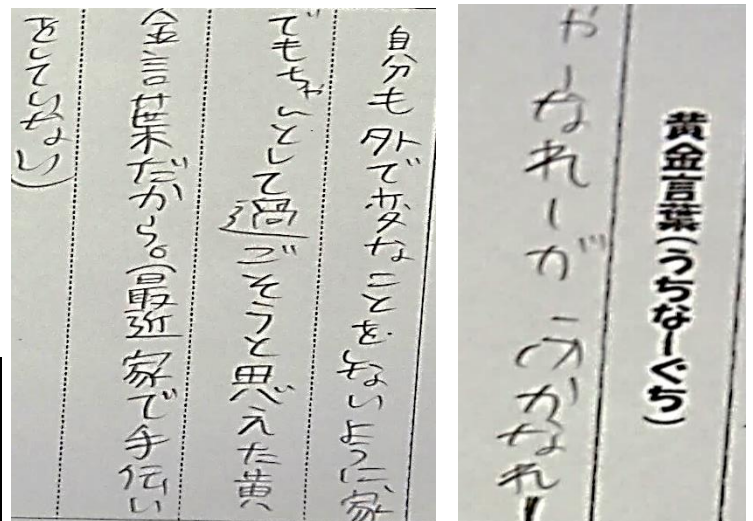
『まきねーねー、ちゅーや、ゆくいみそーれー』



図1 「なーべーらー」と「とーびーらー」の違いは？



図2 しまくとぅば読本を使って方言の練習中



今日は、昔から沖縄で使われている言葉を学ぶことができたので、少しでも方言を使えるようにして、沖縄のおじいちゃん、おばあちゃんとも話してみたい。

図3 両親が県外出身のAさんの黄金言葉と振り返り



図4 女流歌人の「恩納なべ」と「よしやー」

9月18日はしまくとぅばの日！しまくとぅば普及振興行動計画(沖縄県)

しまくとぅばとは、「故郷のことば」であり、沖縄の自然や人々の顔や声と共に再生される、具体的な形をもった生活のことばです。そして私たちの父母や祖父母の生まれ育った土地のことばともいえるのです。

いま、最も必要なのは沖縄で生まれ育った「しまくとぅば」の継承です。あなたも「しまくとぅば」の普及・継承活動の、担い手のひとりとして、できることから始めていきませんか。

